

古い日立を語る會

とき 「昭和」22年11月5日6時30分よ

り

ところ 會瀬クラブ

ひと

佐々木勝治 萬田五郎 關勝蔵
石川 阡 手塚武司 佐藤英雄
小池四郎 山本寺勝男 阿部忠正
中村真之輔 小林孝正 西川忠行
武士一彌 吉田政治 大森忠道
渡邊四郎 高橋市蔵 菅原和夫
大竹泰子 池田綱生 平樂太郎
下村信一 宮本良寛 佐藤哲夫
伊藤千代 宮 稔

速記 小池嘉文 相澤清

まえがき

狐の住む海近い高鈴の山の中から流れてきたタンパ水がこの街の歴史の始まりである。而し、之は単なる古い高鈴村の、亦助川町の、物語りに終るものではない。

且つて日立を旺歌したその因は何であつたか、亦私たちの先輩はどのような労働條件のもとに働き、そして日本の長い時が示す社會思潮からどのような影響を受けて歩んできたか――。

私たちは今こそ古い日立から、働く日立の生きるべき糧を摂取し、これを踏臺に敢然と脱皮しなければならぬ秋ではないだろうか。教習部兼て念願計劃中の日立労働運動史編纂の一つの端緒として、日立の古い人々を中心に語り合つたその一駒である。

むかしの日立

宮 皆さん今日はこの座談會の主旨にご賛同下さいまして、日立の武蔵野と言はれる遠い會瀬までわざわざおいで下さつたこと主催者側として厚くお禮致します。

では、早速西川さんに司會して貰い、始めて戴きたいと思ひます。

西川 古い人でも、その當時の會社のやり方について色々不平不満があつたと思ひますが、それをどういう形で會社に申し入れることが出来たか、抑えられていた點等についてお伺いしたいんですが……。

關 話はそれるかも知れませんが、私はちよつと小平さんと高尾さんの日立鉾山時代のことをお話しします。

明治四十年頃の事です、私の日立鉾山に入つた時は小平さんが工作課長になつた時で、その頃高尾さんが角帽をかぶつて實習に來てましてね……。

その頃の大学生というものは大したもんだつたんですよ。私の村なんかで上級學校と云えば偶に中學位のもので、私はその時生れて始めて大學の角帽を見て偉い人だな

あと思ひました。(笑聲)

その次の年になつて高尾さんが小平さんの次席として入社して來ました。

そして間もなく私は首を切られてしまつたんです。(笑聲)

面白い話では、めつたに見られなかつた小平さんのハゲ頭を見た時です。鉾山の發電機の故障で中を覗きこむのにもどうしても帽子が邪魔になつてぬいだ所をその時一緒にいたので見た譯です。(笑聲)

萬田 その頃からハゲてたんですかね。關 ハゲてました。そして何時も太いステッキを持つてましてね……。

西川 佐々木さんその頃の事で何か。佐佐木 私は當時大雄院の工夫でして、一ヶ月に十日位馬車道の修理に下つて來てたんです。石灰山の出ばつたところに長屋があつて、「こびき」や「土方」が入つていました。

當時大雄院の製鍊所附近は「サクガン工事」をやつていて、山から木を倒してその木も直径三尺位もあるものでしてこの木を谷に横にかけ渡し「トロ」で運んでいた。また荷受所からは何十人という女達が煉瓦を背負つてはこんでいる始末で……。

大竹 その頃日立の町はどんな風だつたでしょう。佐々木 明治四十一年頃の日立といへば、全くの山村で助川といつて今の日立驛の陸橋の山側附近、今の電車の停留所のところですね、あそこに家が五、六軒立つていて鉾山え來た材料はあそこにおろしていた。

道はそこから堀川さんの家の傍を通り水道會社の所へ行き、それから皆川さんの家の所から辨天池に脱け今の國道の不動尊の所に通じていて、それから市役所の前を通つて宮田え行き、大升屋(當時もあつた)のところから栄町に行き、そこから大雄院に通じてました。その邊は非常に景色のよい所でした……。

池田 その頃日給はどれ位でした。關 私の入つた時は十五才で日給二十錢の送風機の運転手見習として送風機の油注しになつたんです。

當時の職工さんは小學校もロクに出てなかつたらしく私は高等小學校を出てましたので、二十五、六才位の職工さんが算術や國語を私の所に習いに來る譯で、その時は實は愉快でしたよ。……

萬田 その頃の物價はどうでした。關 日給二十錢でしたが、下宿代は一日十八錢でした。

石川 私の入つた當時の寮代はやはり十七錢か十八錢でした。

關 當時の長屋は十二間にして八畳の間に六人位入つたと記憶しています。

下村 社宅は無かつたんですか。關 社宅どころか下宿屋もなし、こゝの土地の人でない人は知り合ひの人の家に下宿してたですよ。その頃家一軒が三圓か五圓位で買えました。(笑聲)

萬田 その當時の民家には畳があつたんですか。關 畳はありましたよ。當時の高鈴村には



狐や木ねずみが澤山いました。

下村 猿はいませんでしたか。(笑聲)

關 猿はいなかったようです。杉の室という所はおそろしい所でしたが、猿は見たことがなかったですね。

佐々木 私は明治四十一年頃から大正五年頃までの色々古い話を致します。

年をとつて順序が喰い違いかも知れませんが、日立の未開地頃の状況をすこし……

今の芝内のことを昔は「梅の木」といつてました。何故かというところ今の停留所の所に大きな梅の木が一本あつて、これが大きくなり過ぎて邪魔になつてきたので掘つて飯島さんの家に植えかえたのを覚えていてる。

よくは判らないが四十二年中には電車が完通したと思つてます。日立製作所が始まつたのは、四十三年で、今の敷地はみな田圃だつたですね。

鐵筋の家で一番早かつたのは、鉾山のコンパターでその後山手工場の建屋が出来

て、鋼工場のところに變電所があつた。そこには五〇〇キロの變壓機が三臺、四〇〇キロの發電機が二臺あつた。その發電機を廻すのに、「ヨイトマケ、ヨイトマケ」とチエンブロッツをからんでは「ダダーツ」とやつて、まわり出すといそいで逃げるという今から考えると實に原始的な方法でした。(笑聲) 後で飯島さんから聞いた話では、變壓機のケースはむづかしいので山形から職人を頼んで來たことがあるとかでした。馬場さんも芝浦へ行つて技術を見て來たそうです。

西川 労働運動の話をきいたの何時頃ですか。

關 私の知つたのは足尾の暴動の時ですね、その頃私はまだ小學校にいた頃で後でそれが労働運動の一つであつたとき……ました。

佐々木 日立における労働運動については、私はハツキリ覚えてないが、大正三年頃でしたか、どこからくばられたものか判りませんが小型手帖を一冊貰いました。この手帖にはこの會に入會すれば會社を首になつても力になつてくれるといううまいことが書いてあり、誰言うともなくいろいろ噂さも立て私なんかも入れ入れとすゝめられました。

その時私は會社にゴマをするとか、ゴマをすらないとかということ別にどこからどうきたものかよく判らないので、まあ入りませんでした。

その頃ですか、共済規則が作られ自分の

給料から一錢づゝ引かれていて、一親等が死んだ場合には三圓貰えるのが當時の規定であつた。が、その細い使い道は私共には公開されなかつたですね。

友愛會事件

西川 では順序を追つて、古いところの友愛會事件についてお話ししく戴きましよう。

佐々木 友愛會が堂々と新聞に出てきたのは大正五年頃で日立製作所にも磐城の方から入つてきて六年頃には日立に支部が作られ、芝内の停留所の近くに労働黨の事務所が完成し、會社では守衛なんか目を光らせて會社からは非常な反感を買つていたようでした。

でもこのお先棒をかついでいた人は非常に技術がよく首にする譯には行かず、會社は困つたらしいです。

鉾山では、共樂館の傍に友愛會の事務所が出来、製作所には亀屋のところと事務所が作られ、その後二年間は運動を續けていたらしい。

その間會社は前にも言つた通り神經を昂ぶらせていました。私は會社に何もゴマするとかの問題でなしに、これを何とか静まらせようと努めた譯です。そして島村さんが動いて、山田さんに相談して労資協調會を作ることにになり、共済金三圓位だから、こんな騒ぎになるといふので、今の山手の

労務の所に私共職頭十人集つて相談した譯

です。先づクラブを作らせることを決め、道家さんが案を持つてこいというので、早速案を出した。ところが藤原さんなんかはなかなかうんと言はなかつたが、下村さんとか田中さんが非常に動いてくれ、今の桐木田クラブが作られた譯なんです。

それで労資協調會か友愛會かとどつちかよいかと噂になつた程です。

宮 温交會というのは何時頃からですか。佐々木 友愛會の方では検束者の貰い下げをやつており、こつちでは自分の掛で金どうこうしてもらいたいということをやりに、會社でも許可して結局あのクラブは三ヶ月位で完成した譯です。

その頃から温交會という名になり、この會長には職頭級がなるということになりましたが、職頭級は皆どんぐりの背くらべでそれは仕方がないというので、飯島さんが道家さんあたりにやつて貰うつもりで交渉した所、飯島さんは高尾さんになつてらうというので、やつと高尾さんになつて貰いましたが、この時はホトホト手占ずりましたよ……。

下村 友愛會は大分彈壓を受けたようですが、その様子をすこし詳しくおしえて下さい。

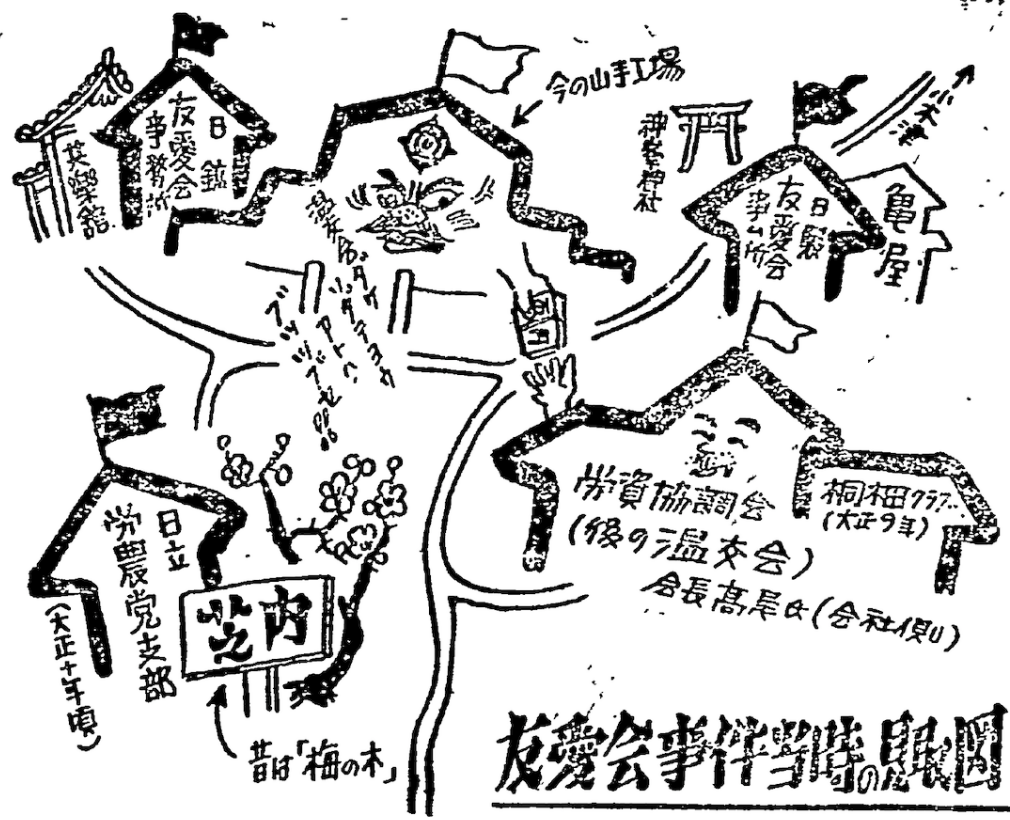
萬田 演説會なんかがあると會社ではすぐに警察に連絡して道家さんが守衛を引き連れて演説會妨害に行つたようです。

佐々木 演説妨害はやらなかつたでしょう。何でも亀屋の前で騒ぎがあつた時は私なんか消防隊にいて、會社に押しかけてき

たら水でもかけると命令されたような気がする……。 (笑聲) (このところ少し言葉が濁る)

宮 亀屋の事件のおこりは何ですか。

佐佐木 よくは判りませんが、何でも會社の命令で職頭連中が手分けして四百名位の友愛會の名ボを中心に友愛會をやめるように勧告した。でもどうしても駄目な人には



友愛會事件當時の眼圖

會社をやめて貰ったのが原因だったんではないですか。

萬田 それで思い出したが會社で友愛會に加盟している人を知るために苦労して名簿を作つたらしいことは秘密文書で僕も見ることがある。今はどうなつたか判らないが……。

佐佐木 飯島さんなんかは、白鳥さんに泣いて口説いたそうですが、やつぱり駄目だったそうです。とに角友愛會には優秀な人が多かつた。
池田 その時のさわざは何ですかデモでもやつたんですか。
佐佐木 演説會で興奮した二百人ばかりの連中が山手労務え向つて押しかけてきたんです。

關 演説をよくやつたのは、鈴木文治とか、白鳥とかだつた、麻生久という人は何でも、公務執行妨害で捕つたのもその頃だつた。
池田 その時佐々木さんなんか水をかけた方ですか。 (笑聲)
佐々木 かけなかつたでしょう、消防隊には命令が出ていたが……。それになんですよその頃友愛會の連中は放火するという噂さが飛んでいたの、命令が出たのか、エーとどうもハツキリしないです……。

それからあの鈴木文治さんという人は立派な人でしたね。四十才前後で、何時だつたか日立の驛え三時の汽車で下りそして本部とか支部の旗をひるがえして大したもんでしたよ。でも、道家さんも又一方の豪傑

だつた。 (笑聲)

關 しかしその頃の會社は浮き足だつた形のようにでしたよ。
佐佐木 とに角神經過敏でしたよ。
關 服装なんかまで嚴重だつたんですからね。

大森 門の出入には門鑑か何かつかつていたんですか？
佐佐木 帽子に番號札をつけておりました。
池田 大正六年から九年の間は労働運動の盛んな時期だつたんですが、大正八年の頃ストライキがありましたか。
佐佐木 大正九年に石川島が争議をやつたその時日立の温交會に応援して呉れといつて來た (笑聲) そして使いの者が五名位來たですよ。

池田 どう處理したんですか？
佐佐木 その細いことは……。 (と言葉がとぎれる)
大森 大正九年に赤事件というのがあつたんではないですか？
萬田 昭和八年の春でしょう。私もよく判りませんが、あの弾壓に次ぐ弾壓の時代に日立にも共産黨結成の動きがあつたのです。

これに今でいうオルグとして東京から指令をもらつて若松という男が來た。ところがこの若松君がつかまつてしまつた。警察ではこの指令の出所をつきとめていないで苦心していた折なので若松君を引張つて東京へ行つた。その中若松君がうまく逃げ

肉機調協資労 新任役員新會交温



萬田 あの答辭は會社で前もつて作つてお

くんですよ (笑聲)

中村 議席がちゃんと決つていて、課長とはいつも隣り合せて身動きも出来なかつた。(笑聲)

佐佐木 議席は代表が「クジ」で決めたのではないのですか。

武士 決つていたよ、工員は奇数とか課長級は偶数とかしておいたから幾ら「クジ」を引いても隣り合うことには間違いないように出来ていたんだよ。

中村 議題もみんな會社で決めていた。

小林 僕は入つた時に温交會の事務をやらされたが、議題は都合のよいものだけをのせて、始めの日に説明をして次の日に調べてきて決めることになつていた。

中村 最所(初)の日に議題のある人はこれを出すと次の日に偉い人が回答する。この回答がまたしつかりやつて貰いたいということばかりなんだ。

武士 温交會の役員には職長級が多くて、この職長がまたトテモうまいんでね……。

關 温交會で労働運動を制限してたんですね。

佐佐木 私個人の話で變ですが、又言つてよいか悪いか判りませんが、私共は工場で働いてる給料の高い人よりもちよこつとした火の用心のことで罰金を多くとられる。

同じようなことをしても差別をつけて多くとられる。人足の給料が安いのに實にこの差別待遇がひどかつたですよ。

こゝ坐つてる萬田さんが労務課長をやつ

ていた頃ですよ。(笑聲)

それに擔當してたのがそこに居る小林さんで、私なんか交渉に行つてもロクに受けつけてくれないし、全くヒドイ人だと思ひましたよ。(笑聲)

西川 そんなことで罰金をとられたんですか。

佐佐木 例えば米の値段が上つた時に工場で買える安い米も少し位高く賣つては處罰される。これが職工さんならば見逃して済むことなんです、人足だという譯でつかまえるんですよ。

下村 人足つて本當の職名は何と言うんですか。

萬田 常夫といへました。

クラブの件ですがね、従業員の空氣を察知して要求される前に手を打つことが大事だと温交會の事務引継ぎの時に高尾さんから言われていたですよ。

どこかはつきり覚えてないが、誰かの家でやり職長級がリードしようということになつたんですよ。

小池 山本寺さんは社會黨員でこの第一聲を上げたので、當時會社はまだ社會主義は危険思想だと思つていた。(笑聲)

この山本寺さんの流れと職長級の流れと二つの流れがあつたらしい。

吉田 發足當時から関係していたものとして顛末をお話しします……。

昭和二〇年十一月日立驛前の今、掲示板のある所ですが大きな紙に日立労働組合を

結成するから有志諸君は濱の宮寮の何號室かに集つてくれという意味のビラが書いてあり、そこに山本寺勝男と書いてあつた。

このビラを見て吉田も二三人の者が語り合つて第一回の準備會に行つた。山本寺氏とその友人四、五人が居たがその時は人がすくなく話し合ひに終つた。第二回には私達のところにも正式の通知があつたので例

の濱の宮の部屋に集つた譯です。

その時□「イニシャルか」氏は部屋の片隅で七、八人と労働組合を作る議論を始めていた。その主張では彼はあくまでも勞資協

調主義で頑としてきかず會社がつぶれるならば當然我々もつぶれてしまう、とはつきり言えば勞資共同運命論を主張していた。

山本寺氏はそういうことでは駄目だと説いてた。

その時だつたと思うが三浦さんが黙つてきいており、その傍で今課長になつたY氏が盛んにメモをとつていました。

大森 温交會の役員になることが一つの名誉であつて、それも今考えれば會社の労働政策の一つだつたと思うね。

武士 僕がなつた時なんか工場長の祝辭があり、それに對してイヤにこむづかしい答辭をよんだりして、まあ、まあ、たまげたね……。(笑聲)

行方をくらましてしまつた。警察ではやつきとなつたがやつぱり判らなかつた事件があつたですね。それから齒車事件というものがあつたが、これは庶務の高橋さんがよく知つてる筈ですよ。

下村 高橋さんにも來て貰えばよかつた残念ですね。温交會の話を少し聞かして下さい。

大森 温交會の役員になることが一つの名誉であつて、それも今考えれば會社の労働政策の一つだつたと思うね。

武士 僕がなつた時なんか工場長の祝辭があり、それに對してイヤにこむづかしい答辭をよんだりして、まあ、まあ、たまげたね……。(笑聲)

武士 篠原さんから僕も聞いたが会社から作れとは言つて来なかつたと言つていた。

× ×
渡邊四 話が外れますが鉾山の人はこゝに家を持つ人が多いですね、製作所の人は老後の生活が不安定だと言つてますが、これはどうなんですか……。

關 しかし東北からきた人には住みよい所らしい。大体鉾山は小坂鉾山からきた人が多いようです。日立はまあ東北地方の植民地ですね。(笑聲)

萬田 私も東北の生れですが東北の人でも三十年、四十年勤務した後でこゝに住む人は余りないようです。

宮 でも佐々木さんは終戦後田舎へ一度引込んで、また舞い戻つた形ですが何か原因はないですか。

佐佐木 割合住みよい所だと思うが、一番よいとは思つてない。(笑聲)

それに鉾山と製作所の人の考え方が違うようです。鉾山なんかでは一身上の心配のことはその係員が心配してくれるが日製では他人をめんどうみるという考え方がないようです。ですから長く住む人も少いじやないでしょうか。この工場にいるとやめた後どうして暮して行くか心配なんです。

この日立に何か家庭工業式のものが出てればそう住みにくい所ではないと思うんです。私なんか三十七、八年勤めてこゝを辞めて一旦家に歸りましたが、結局また戻つて來ました。鉾山なんかは六十上の人も働いている、年をとつても役に立つ者は使つ

て貰いたいですね。

手塚 同感ですね。辭めてしまつたらどうでも良いということでもなく何らかの方法を生かして貰いたいと思う。

武士 東北から見れば日立は出かせぎの所だと思つてゐるらしい。

× ×
高橋 話は違いますが、昔の人は會社と言つたのですか、工場と言つたんですか？
關 會社という人が多かつたではないですか。

宮 私は日立えきた頃生れて始めて聞く言葉が多いので大分面喰つたんです……。

下村 ガンバラとかオシヤカというのは何がはじまりですか。

佐藤 ガンバラというのは汚いという意味でオシヤカというのと同じですよ。

下村 雁の腹は汚いのですか。(笑聲)
佐藤 汚いですね。それからオシヤカ棒の□も汚いでしょうそれでこの言葉が出たら

しいです。

宮 あのホトケ様は結局幾ら拝んだつて役にたたない。したがつて使ひものにならない不良品という意味だと誰かに聞いて成程と思つてたんですがね……。

下村 職場結婚ということはどんな風だったんですか。

阿部 結婚する時には知らないように辭めさせていたよ。

宮 昔の話も非常に興味ありますが、日常工場では使はれてきた言葉の階級性とか亦労働条件などをもつときつたかつたですね。

……昔は生理休暇なんか問題になつたことはないですか。

佐藤 全然話が出ませんでしたね。

宮 随分無理してたでしょうね、殊に鑄場の場なんか……。

手塚 私の所は女の人を多く使つていたがそういうことは見られなかつたですよ。

山本寺 生理休暇も第一回の要求の時には男の方で出せということになつたんです

が、小名濱から來ていた女の代議員は反對してたですよ。(笑聲)

渡邊四 制服制帽はやかましかつたらしいですが……。

佐藤 工員の方はそうでもなかつたですよ。

萬田 工員の人たちは待遇悪かつたですね、桐木社宅なんか實にひどかつた。

下村 誰か宮様が來た時會社の人があれはとり小屋だと説明したそうですが……。

(笑聲)
宮 それで日立は工場だけでなく、養鶏も盛んだと感心したそうですよ。(笑聲)

それからまた言葉ですが、みはりというのは何處から始まつたんですか、本番というのがあります。

小林 鉾山あたりから起つたんでしよう。本番は炭鉾からでしょう。

下村 見張るところ、つまり監視するところという事だよ。

西川 前に佐々木さんから話がありました。温交會に爭議応援して呉れといつてきたそうですがこれはなかなか面白い話です

ね。

佐々木 あれは幹部に何い立てたが、どう處理したかわからない。

萬田 幹部までは行かなかつたよ、庶務擔當者あたりが、握りつぶしていますよ。

小林 温交會を開く時一番苦勞するのは、庶務と勤勞でしたよ、議題の具合の悪いのゝ處理と議席ではてんこ舞いでした。

西川 温交會にまた話が戻りましたが時間がもおそいので惜しいですが、ではこの邊で――。

(文責・宮)

附記

この座談會で終戦後組合發足當時の模様もつと詳しく語られたが、あくまでもこの記事は所謂古い日立に中心を置いた故相當の割愛をした。終戦後の新しい日立を語る會は當時關係した多くの人に集つて貰いあらためて催したい。

この點當夜發言した方々に諒として戴きたい。尚、この座談會に協力して戴いた出席の各氏に紙面を借り厚くお禮致します。

(教宣部)

「発言者紹介 編者」

佐々木勝治 温交會委員(日立労働運動史)29頁。一九四五年十一月佐々木組

(佐々木興業)設立

萬田五郎 一九〇五年秋田県生まれ、二九年東京帝大法学部卒、日立製作所入社、日

立工場配属。三二年庶務担当から労務、三九年庶務課長、日立市議。四三年総務部長。四七年衆議院議員茨城県第二区当選

(一期。日本社会党)。五五年日立電鉄

(株)社長、翌年日立土地(株)社長。六三〇七五年日立市長

山本寺勝男(特許) 一九四六年工員組合副組合長、四六年五月社工員合併組合長、四七年執行委員

浜の宮寮で労働組合研究会たちあげ、四五年十一月労働組合結成よびかけ、十二月職長会(現場役付)・筆生会(事務系役付)・

日工同窓会(日立専修学校卒業生)と組合結成協議会を開催、四六年一月の日立工場労働組合(工員組合)結成を主導(『運動史』

72頁)

小林孝正(社員 労務・勤一) 一九三九年日立工場入社。四六年社員組合理事、四六〇五〇年社員組合副組合長・副執行委員長、四七年九月日立総連合委員長

熊本県出身。一九三五年第五高文科卒。東京帝大法学部卒、四七年頃共産党入党。四九年十一月、日立工場は小林に九州営業所転勤を発令、拒否。翌五〇年二月五日解雇

通告(『運動史』)。二月十日茨城地労委

に転勤命令と解雇無効の救済申立、二月十五日水戸地裁へ解雇無効の「地位保全の仮処分申請」、その後救済申立取下げ、裁判敗訴。五二年一月(三十七歳の時)と五三年四月の衆議院議員選挙で茨城県二区に共産党から立候補するも落選。

武士一彌(製罐) 一九四六年工員組合理

事・社員組合理事、四七年執行委員、四八年副執行委員長、四八〇四九年書記長・執行委員、五四〇五五年会計監査。

一九一二年久慈郡浅川村(現大子町)生まれ、二九年日立製作所日立工場入社。製罐工場配属。四五年工場長(『日立製作所と地域

社会』)

渡邊四郎(機製 タ製) 一九四七〇四九年

執行委員、五〇〇五一年書記長、五一年執行委員、五三年書記長、五三〇五四年執行委員、五四〇五五年執行委員

一九一六年福島県生まれ。三九年日立工場入社。回工部水車工場課機械係小物機械配属。四六年日本社会党日立支部結成に参加

(『日製と地域』)

宮 稔 一九一六年岩手県生まれ、三七年日立工場入社。四七年社内文芸誌『ばんぼん』創刊にかかわる。五〇年日立争議で退

職。結核療養中に詩誌『詩人部落』を発

行。その後業界紙の編集にたずさわる(山崎実「詩人宮稔と『詩人部落』」『市民と博物館』第55号 二〇〇〇年)。